

### Ⅲ 中学3年生 評価の実際

川田基生

力の育成をめざしてわれわれは授業の進め方に生徒のアイデアを導入したり、講演会の企画、インターネットの利用、フィールドワーク、調査結果の発表会を持つなどの学習を展開してきた。その評価についての我々の方針は「個と状況に即して」ということと「タイムリーに」ということである。以下具体的に観点項目を説明したい。

#### 1. 4つの柱の観点化

4つの柱とは、知的関心の形成と問題解決能力、体験・コミュニケーション能力、創造的表現力、総合的思考能力と実践能力の4つである。これらの能

#### 2. 自己評価、相互評価と具体例

##### 中学三年生 自己評価票

##### (1) 事象への関心・意欲・態度

授業中に注意を集中できましたか	A B C D E
ねばりづよく学習ができましたか	A B C D E
学習における自分の責任は果たせましたか	A B C D E
他人の意見から謙虚に学べましたか	A B C D E
友達と協力して学習することができましたか	A B C D E
よい学習の習慣はつきましたか	
A 高度に有効な学習習慣	B 適度な学習習慣
C これからが見込みあり	D その場だけ適当に
E 学習の習慣はない	

##### (2) 創意工夫する能力・研究心

- A すべての問題に積極的な対応をする
- B ある問題にだけ積極的な対応をする
- C 指示された問題には従事する
- D 詳細に指導しないと活動しない
- E どんな知的刺激に対しても無反応

##### (3) 学習内容をまとめ表現する能力

題材選び着想の豊かさ	A B C D E
取材問題のつかみかた	A B C D E
構想順序・主題	A B C D E
表現の深さ・的確さ	A B C D E

##### (4) 事象についての知識 理解

必要十分な知識を得ましたか	A B C D E
学習したことを組織だてて説明できますか	A B C D E
意見・感想を述べることができましたか	A B C D E

この自己評価票は学習の始めの時期と終了に近い時期に同じ項目で二度実施した。最初は目標を意識させ、二度目は総括のためである。この自己評価票を使った指導例を次に記述する。

相互評価もフィールドワーク地である広島および校内での調査結果の発表会で班単位で実施している。

#### 3. 教師評価と具体例

T君は誠実なグループのまとめ役。しかし学習の面で鋭さはまだない。

##### 教師の助言

「学習における自分の責任は果たせましたかAでいい。友達と協力して学習することができましたかもA。このCについて言えば、熟知して表現。そして、構造を探求する努力をするならこのCはBにもAにもなるよ。」

T君の自己評価票

「学習したことを組織だてて説明できますか C」

## Ⅱ 「総合人間科」, その評価の実際から

S君の自己評価票

「着想の豊かさ C」

「意見・感想を述べることができましたか D」

教師の助言

「たくさんのことについて批評することが着想の豊かさにつながるよ。」

Yさんの自己評価票

「題材選び着想の豊かさ A」

「必要十分な知識を得ましたか D」

教師の助言

「篤実な学習習慣を。そうなれば学習の面でも個性が生きる。」

自己評価票を媒介し、そのときのそのときの生徒の

実態に即し、自己評価票の項目を目標としての形成的評価をねらっている。

### 4. 評価 学年の話題

我々の方針は「個と状況に即して」ということと「タイムリーに」ということであるので、口頭での励ましの言葉を大切にしたい。そして我々が大事に育てようとしているものを数量化することには困難を感じている。

### 5. 学年末評定の例

A B C 3段階の総合評価 および 観点別評価  
観点は

- (1) 事象への関心・意欲・態度
- (2) 創意工夫する能力・研究
- (3) 学習内容をまとめ表現する能力
- (4) 事象についての知識 理解の

4項目で自己評価票と同一である。